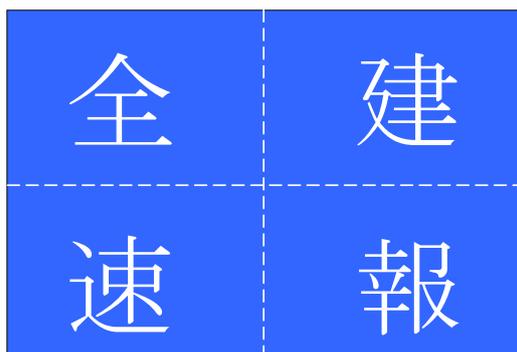


平成30年8月1日



No. 403

<「平成30年7月豪雨」で被災された皆様へ、お見舞いを申し上げます>

この度の未曾有の豪雨災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご家族の皆様にお悔やみを申し上げます。また、被災された地域の皆様が、一日でも早く安心して元の暮らしにお戻りになれるよう、願っております。

さて、被災された地域の協会や会員におかれましては、救援活動や復旧活動にご尽力なされていることと推察いたします。全建といたしましては、皆様のご尽力に敬意を表するとともに、皆様の技術者としてのご活躍に期待がかけられておりますことを改めてお伝えしたく存じます。

<第61回定時社員総会が開催される>

平成30年6月29日（金）、本会の第61回定時社員総会が東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において開催されました。

第61回定時社員総会は午後1時から、出席正会員112名、委任状47,662名、議決権合計47,734名（総会成立定足数30,004名）のもとで開催され、はじめに大石久和会長の挨拶があり、続いて本協会顧問の参議院議員足立敏之氏、ご来賓の松原裕氏（国土交通省大臣官房技術総括審議官）、五道仁実氏（国土交通省大臣官房技術審議官）、岡貞行氏（農林水産省水産庁漁港漁場整備部長）のご祝辞、さらに本協会顧問参議院議員佐藤信秋氏の後援会副代表中神陽一氏、本会企画委員会副委員長の酒井洋一氏（国土交通省大臣官房技術調査官）のご紹介と、順次進められました。

続いて、本会の大石久和会長を議長に選出して下記議題の審議に入り、第1号議案、第2号議案は原案のとおり承認されました。

なお、第2号議案「役員選任の件」については、大石議長から選任方法について会員に諮ったところ「本部一任」となり、提出された本部案が承認されたものです。

第1号議案 平成29年度決算の承認の件

関連事業報告

- ①平成29年度事業報告の報告の件
- ②公益的目的支出計画実施報告の報告の件
- ③平成30年度事業計画および予算の報告の件

第2号議案 役員選任の件

議題の審議終了後、退任することとなった前田副会長の閉会の挨拶をもって、第61回定時社員総会はつつがなく終了しました。

なお、承認された新役員は以下のとおりです。

○新役員

役職	氏名	備考
会 長	大石 久和	元国土交通省技監
副会長	寺本 邦一	元国土交通省大臣官房技術調査官
〃	小川 富由	元国土技術総合政策研究所副所長
〃	<u>小原 恒平</u>	元国土交通省九州地方整備局長
〃	<u>西倉 鉄也</u>	東京都建設局長
理 事	西植 博	元国土交通省中国地方整備局副局長
〃	松本 直也	元国土交通省中国地方整備局副局長
〃	<u>藤井 元生</u>	元国土交通省九州地方整備局副局長
〃	宇賀神 義宣	元農林水産省水産庁漁港漁場整備部長
〃	<u>北谷 啓幸</u>	北海道建設部技監
〃	<u>安田 博道</u>	福島県土木部道路総室次長
〃	<u>御園 直樹</u>	公益財団法人千葉県建設技術センター専務理事
〃	<u>猿田 佳三</u>	水戸市建設部長
〃	<u>梅澤 賢一</u>	甲府市上下水道局工務部長
〃	<u>江幡 光博</u>	富山県土木部次長
〃	<u>長縄 知行</u>	静岡県交通基盤部理事（土木技術担当）
〃	<u>服部 洋平</u>	兵庫県県土整備部土木局長
〃	<u>小澤 雅史</u>	山口県土木建築部次長
〃	<u>片山 秀樹</u>	香川県理事
〃	<u>王丸 義明</u>	佐賀県県土整備部副部長
〃	<u>山口 直宏</u>	中日本高速道路(株)建設企画部建設企画チームチームリーダー
専務理事	中嶋 章雅	元国土交通省九州地方整備局長
常務理事	秋山 幸男	元埼玉県都市整備部長
監 事	染矢 康弘	元国土交通省港湾局建設課港湾事業監理官
〃	<u>青木 秀幸</u>	東京都水道局浄水部長

理事 23 名 監事 2 名
部は新任役員



【主催者挨拶を行う大石会長】



【総会の様子】

＜谷口賞等の個人表彰や平成 29 年度全建賞の表彰が行われる＞

表彰式は、総会に先立ち平成 30 年 6 月 29 日（金）午前 10 時に開式され、谷口賞・谷口功労賞・小沢賞の各受賞者と、全建功労賞及び長期会員表彰の代表受賞者合わせて 71 名、新協会設立功労表彰 2 協会、さらに全建賞の実施機関 94 名と賛助会員の代表者 50 名が出席し実施されました。

最初に大石会長の挨拶があり、続いてご来賓の森昌文氏（国土交通省技監）、石田東生全建賞審査委員長（筑波大学名誉教授・特命教授）からご祝辞をいただきました。続いて、本協会企画委員会副委員長の酒井洋一氏（国土交通省大臣官房技術調査官）のご紹介がなされました。

表彰は、谷口賞、谷口功労賞、小沢賞、全建功労賞、長期会員、新協会設立功労、全建賞の順で行われ、大石会長から賞状が授与されました。

授賞終了後、全受賞者を代表して谷口賞受賞者の深澤淳志氏からの謝辞があり、表彰式は終了しました。

表彰の詳細については、月刊「建設」8月号をご覧ください。



【大石会長から深澤氏へ谷口賞の授与】



【全受賞者代表の深澤氏からの謝辞】

＜実地研修会「明石海峡大橋～世界最長吊り橋の維持管理～」を開催＞

実地研修会「明石海峡大橋」が、西日本を中心に襲った「平成 30 年 7 月豪雨」の直中となった平成 30 年 7 月 5 日（木）～6 日（金）の日程で、全国から 64 名の参加を得て兵庫県神戸市で開催されました。

初日は、雨に見舞われてはいたものの、神戸市内では特に大きな影響もなく、現地視察の理解を深めるための明石海峡大橋の概要や視察のポイントなどの情報を事前に学習するため、本州四

国連絡高速道路株式会社企画部次長の今井清裕氏を講師に迎え、聴講会を予定どおり行いました。

2日目の現地視察は、集合場所となった明石海峡大橋本州側橋脚の脇にある「橋の科学館」へは参加者のほぼ全員が集合し、本州四国連絡高速道路株式会社企画部企画課長代理の大倉章弘氏から現地の説明をいただきました。しかし、その後の豪雨により、鉄道や高速道路などが時々刻々と運転見合わせや通行止めとなる状況に鑑み、「橋の科学館」見学途中で研修会を打ち切りとしました。

参加者の皆様には、橋の点検通路や海面から 300mの主塔頂などでの説明が受けられず、主催者としてお詫びいたします。

なお、初日の講習後には、受講者や本州四国連絡高速道路株式会社の講師など総勢 24 名が参加し、交流会が行われました。交流会は、意見交換が尽きずに 2 時間近くも行われる盛況なものでした。



【今井講師の講義を聴講する参加者】



【橋の科学館で大倉氏の説明を受ける参加者】

＜実地研修会「東日本大震災の復興の現状～復興に向けた現在の取り組み～」を開催＞

実地研修会「東日本大震災の復興の現状」が、平成 30 年 7 月 19 日（木）～20 日（金）の日程で、全国から 41 名の参加を得て岩手県宮古市で開催されました。

初日は、翌日の現地視察の事前学習として、国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所工務第一課長の山本賢氏と岩手県沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター副所長の馬場聡氏の講演を行いました。

2日目の現地視察は気温 30℃に届かない絶好のコンディションの中、「宮古盛岡横断道路、（仮称）磯鶏トンネル建設事業」、「大船渡港、海岸防潮堤整備事業」、「陸前高田市、被災市街地復興土地区画整理事業」、「高田松原津波復興祈念公園企業」の各現地を視察しました。

なお、ここでも初日の講習後に、受講者や講師など総勢 28 名が参加し、交流会が行われました。



三陸国道事務所工務第一課長
山本 賢 氏の講演



「（仮称）磯鶏トンネル」建設事業
視察の様子

<実地研修会「平成 29 年度 7 月九州北部豪雨の現状」の開催を中止します！>

全建では、この度の平成 30 年 7 月豪雨災害により広い範囲で被害が発生したことから、実地研修の現地周辺の状況などを視察先の現場管理者に確認しました。この結果、誠に残念ではございますが、8 月 23 日～24 日に開催を予定していました平成 30 年の実地研修会「平成 29 年度 7 月九州北部豪雨の現状」の開催を中止することといたしました。

なにとぞ、ご了承をいただけますようお願い申し上げます。

なお、全建では今年度中の別コースでの実地研修会開催を検討しております。詳細が決まり次第、ご案内を申し上げます。

<「2019 年全建手帳」大きく改定し、8 月下旬発刊予定！>

2019 年版全建手帳は、今年も会員皆様のご意見などを反映させ、さらに使いやすくなるよう大きく改定を行いました。

本手帳は一般の手帳の便利さに加え、社会資本、災害関連の統計資料などを充実して掲載し、技術者の皆様により使いやすい内容となっています。

主な特徴は、次のようなものです。

- ・昨年より一回りサイズを大きくし、より使いやすい大きさになりました。
- ・便利なペン差し付き大型ポケットにしました。
- ・用紙を文字が裏写りしにくい薄黄色にしました。
- ・資料編を 2 色化し、見やすくしました。資料編には、近代日本の主な災害、災害用伝言ダイヤル、都道府県データ、関係機関の電話番号、年齢早見表など、多くの資料が掲載されています。
- ・カレンダーの収録期間が 2018 年 11 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日までと長く、新しい手帳への移行に便利です。また、建設技術関係の月間や記念日、地域のお祭り、イベント予定日などを掲載しました。
- ・定価 700 円（税込）

【問い合わせ先】

企画課 露木 竹村

TEL : 03-3585-4546 FAX : 03-3586-6640 E-mail : kikaku@zenken.com

<平成 30 年度公共工物品質確保技術者資格登録更新講習の申請を締切りました>

平成 30 年度の公共工物品質確保技術者資格登録更新講習（Ⅰ、Ⅱ共通）の講習受付は、平成 30 年 7 月 31 日（火）で締切りました。

受講者の皆様には、下記の会場と日程で行われる講習実施日の約 1 ヶ月前までには講習受講票をお届けします。

講習実施都市と日程

札幌市 平成 30 年 10 月 5 日（金）	仙台市 平成 30 年 10 月 26 日（金）	東京都 平成 30 年 9 月 7 日（金）
----------------------------	-----------------------------	---------------------------

新潟市 平成30年10月12日(金)	名古屋市 平成30年10月19日(金)	大阪市 平成30年10月26日(金)
広島市 平成30年10月19日(金)	高松市 平成30年11月9日(金)	福岡市 平成30年11月16日(金)
浦添市 平成30年11月2日(金)		

【問い合わせ先】

事業課 下野 高野 古川

TEL : 03-3585-4546 FAX : 03-3586-6640 E-mail : hinkaku@zenken.com

**<「訴えられたら」どうしますか?! インフラの管理瑕疵で… 入札契約で…
2018年度建設系公務員賠償保険 いつでも加入できます。 途中契約受付中!! >**

安心して公務に従事していただくため、保険未加入の会員の皆様は、是非この機会に本保険の加入をご検討下さい。

例えば、下記のような事項に起因して、あなたが訴えられる可能性があります。

- 道路、河川等の設置又は管理瑕疵に起因した災害において損害が生じた
(パトロールの見落とし、施設の老朽化、点検不足等)
- 工事中の事故に対する現場監督官の責務、工事検査の評点の不服
- 入札契約関連
(積算ミスや技術審査への不服等に起因する入札業者からの訴訟)
- 許認可関連や情報公開請求
(手続きの不備や遅れ、土地の境界争い等)
- 地元対応
(言った言わないなど、説明不足に起因した施工に対するトラブル)

本保険が好評な理由

- 建設系公務員のリスクに対応した新しい保険
- 初年度加入日より前に行った行為に起因する請求も補償
- 退職後も5年間の補償が続く
- インターネットでも加入・更新の手続きができる

2018年度保険には、平成30年8月1日からの通年契約に、昨年を上回る2,780名の会員の皆様に加入していただきました。

本保険は、各年の8月1日からの1年間を保険期間としておりますが、通年契約ではなくても「いつでも途中加入できます。」。2017年度保険では、約670名の方が途中加入なされています。

- ①本保険は、正会員の皆様であればいつでも加入でき、途中加入の場合の保険料は月割り計算となります。
- ②2018年度保険パンフレット及び申込書(払込取扱票)は「月刊建設」2018年6月号に同封致しました。追加送付のご希望がありましたら、必要部数を下記取扱代理店までご連絡ください。(パンフレットは、全建ホームページからご覧いただくこともできます)
- ③加入(更新)手続きがインターネットでも行えます。

- ④各種の特約がついておりますので、保険の内容や加入手続きについての詳細は、本会ホームページ（会員サービス）をご参照下さい。

【問い合わせ先】

- 本保険内容に関する問い合わせ・ご相談・パンフレット（払込取扱票）の入手
取扱代理店：建栄サービス株式会社 竹田
（受付時間）土・日・祝日を除く 9：00～17：00
TEL：03-3291-6340
E-mail：kenei-s-hp@kenei-s.co.jp
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-1 山城ビル2階

引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社
（担当） 公務第一部 公務第一課 安斉
（受付時間）土・日・祝日を除く 9：00～17：00
TEL：03-3515-4122
〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4

- 団体保険契約担当（会員に関する問い合わせ）
会員課 春日 竹村
TEL03-3585-4546 FAX：03-3586-6640
E-mail：kaiin@zenken.com

＜全建CPD（継続教育）は建設系CPD協議会に加盟しています＞

平成29年4月から全建の建設系CPD協議会への新規加入が承認されています。

これにより、全建のCPDに利用者登録し、認定された単位は、他の建設系CPD加盟団体での認定と同様な扱いとなりました（一部を除く）。

他のCPD加盟団体の講演会等に参加する機会の少ない地域においても、全建地方協会等の講演会に参加し全建CPDを取得すれば、他の建設系CPD協議会加盟団体での認定と同様な扱いを受けることが可能です。

全建会員は、全建CPD制度へ無料で利用者登録できますので、是非ご利用ください。

全建CPD制度の詳細につきましては、下記の全建ホームページをご覧ください。

（http://www.zenken.com/ZK_CPD/CPD.html）

【問い合わせ先】

事業課 高野
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640
E-mail：zkcpd@zenken.com

＜「伝承プロジェクト」（出前講座）の活用について＞

「伝承プロジェクト」は技術の伝承を目的に、貴重な体験や取組をした官公庁等技術者が、他の地方協会で行われる出前講座の講師となり技術等を伝え、また地方協会間を結んでいく事業です。

この出前講座では、岩手、宮城、福島の3県と仙台市のご協力で行っていた「東日本大震災の対応や復興に関する事項」に加え、「平成28年熊本地震の対応や復興に関する事項」を熊本県のご協力を得て実施しています。

何処でどのような災害が起こっても不思議ではないと謂われている今日、災害に直面し貴重な体験を通して得られた「技術」を、当事者だけのものとせず全国の全建会員共有の「技術」とし、国民の安全・安心につなげていくため、是非「伝承プロジェクト」をご活用ください。

なお、「伝承プロジェクト」開催には、講師派遣旅費の全額助成と出前講座実施運営費に上限4万円の助成を、全建本部で行います。詳しくは、下記の担当までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

事業課 下野 高野 戸村

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

E-mail：kensyu@zenken.com

<全建本部と地方協会・地区連合会との情報交換等について>

全建本部では、地方協会・地区連合会との情報交換を密にし、より一層皆様の声を反映した事業を実施し、更なる全建活動の活性化を図ってまいりたいと考えています。

総会等の開催をご案内いただければ、可能な限り出席させていただき、ご意見等を伺うとともに、本部からの連絡事項等をお伝えする機会として活用させていただきたいと考えています。

つきましては、総会等の開催の機会がございましたら、全建本部までご連絡いただきますようお願いいたします。なお、交通費等について地方協会のご負担をいただくことはありません。

【問い合わせ先】

総務課 小沢

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

E-mail：soumu@zenken.com

<「平成30年度 災害手帳」販売中！>

本会出版の「平成30年度災害手帳」は、災害復旧事業に関する国庫負担申請の事務手続きや、関連して必要となる技術的な留意点について解説したハンドブックです。初めて災害復旧事業に携わる方々にも容易に理解できるよう、用語の解説や索引など、一層わかりやすい編集となっています。

【問合せ先】

企画課 露木

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

E-mail：kikaku@zenken.com

<「公共土木施設の災害申請工法のポイント」—平成27年改訂版—販売中！>

本書は「災害手帳」の参考図書として、国庫負担申請にあたってのその範囲の考え方や、復旧工法等の基本的なポイントを、主として技術的観点から解説しています。

<平成27年版の主な改訂点>

- ・美しい山河を守る災害復旧基本方針、道路土工指針等最新の技術基準類の内容を反映した改訂
- ・下水道の災害復旧の考え方を新規追加
- ・その他の改訂（河川の最大洗掘深把握と根入れの考え方、橋梁設計荷重の追加等）

○平成27年改訂版の概要

- ・体裁 A5版 カラー、304ページ
- ・定価 2,900円（会員価格2,320円）消費税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】

企画課 露木

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

E-mail：kikaku@zenken.com

<「公共土木施設災害復旧の災害査定添付写真の撮り方」－平成26年改訂版－販売中！>

災害復旧事業の申請に必ず必要となる被災状況等の添付写真について、写真等の事例（工種別）他、留意事項等を取りまとめています。

<平成26年版の主な改訂点>

- ・平成25年8月事務連絡「災害査定添付写真について」等に基づき全面改訂
- ・全景写真、横断写真、写真等の事例（工種別）について、平成25年の簡素化事例写真を掲載

○平成26年改訂版の概要

- ・体裁 A5判、カラー、73ページ
- ・定価 2,300円（会員価格1,840円）消費税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】

企画課 露木

TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

E-mail：kikaku@zenken.com

<「技術者のための災害復旧問答集」－改訂版－販売中！>

公共土木施設に係わる災害復旧事業については、基本法となる「公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法」をはじめ、これに基づく政令や通達が定められており、その内容は多岐にわたっています。「技術者のための災害復旧問答集」では、平成25年に10年ぶりの全面的な見直しを行いました。初めて災害復旧事業に携わる公務員や関係技術者を対象に、事例等を「Q&A」の形式で平易に解説してあります。災害復旧事業のわかりやすいテキストという位置づけで研修等の教材として、また、実務に際しての参考書として活用していただけます。

○改訂版の概要

- ・体裁：A5判、254ページ
- ・定価：2,592円（会員価格：2,052円）消費税込み 送料本会負担

【問い合わせ先】

企画課 露木

TEL : 03-3585-4546 FAX : 03-3586-6640

E-mail : kikaku@zenken.com

＜技術図書の4割引を斡旋しています＞

出版各社の協力を得て、技術図書の4割引斡旋をしています。技術資格取得のための参考書や技術的読み物など沢山の技術図書が対象となっております。今後も更に対象図書の拡大を図って行きます。

なお、同一会員が補助を受けられる冊数は、同一図書については、一冊となっておりますのでご注意ください。

詳しくは、<http://www.zenken.com/service/gijututosho/gijyututosyo.html> をご覧の上、是非この機会にご活用ください。

【問い合わせ先】

企画課 露木

TEL : 03-3585-4546 FAX : 03-3586-6640

E-mail : kikaku@zenken.com

＜全建メールマガジン登録随時受付中＞

全建では、建設関係施策及び関連する情報等を月1回登録者の皆様に無料で発信しています。毎月ホットな情報を満載し、魅力ある情報を配信する全建メールマガジンです。どなたでもご利用いただけます。是非ご登録ください！

全建メールマガジン登録及び解除は、全建HPの全建メールマガジンのページで、直接ご自身で行なってください。

全建メールマガジンのページは、こちらです。

https://www.zenken.com/zk_mm/zk_mm.html

最新号のメールマガジンは、こちらをご覧ください。

http://www.zenken.com/zk_mm/back_no/back_no.html

平成30年7月の動き

○ 7月 1日 (日)	機関誌 月刊「建設」 7月号発行 特集：社会資本の戦略的な維持管理	(発行部数部61,200部)
○ 7月 5日 (木)	茨城県建設技術協会総会	於：茨城県水戸市
○ 7月 5日 (木) ～6日 (金)	実地研修会 明石海峡大橋	於：兵庫県神戸市

○ 7月13日 (金)	北陸地方整備局建設技術協会 特別会員部会総会	於:新潟県新潟市
○ 7月13日 (金)	新潟県建設技術協会総会	於:新潟県新潟市
○ 7月13日 (金)	群馬県建設技術協会総会	於:群馬県前橋市
○ 7月18日 (水)	栃木県建設技術協会総会	於:栃木県宇都宮市
○ 7月19日 (木) ~20日 (金)	実地研修会 東日本大震災の復興の現状	於:岩手県宮古市
○ 7月20日 (金)	香川県建設技術協会総会	於:香川県高松市
○ 7月24日 (火)	横浜市建設技術協会総会	於:神奈川県横浜市
○ 7月25日 (水)	宮崎市建設技術協会総会	於:宮崎県宮崎市
○ 7月27日 (金)	合同編集委員会	於:東京都港区 モントレ赤坂
○ 7月30日 (月)	山形県建設技術協会総会	於: 山形県山形市

平成30年8月の予定

○ 8月 1日 (水)	機関誌 月刊「建設」 8月号発行 特集:平成29年度表彰	(発行部数部61,200部)
○ 8月 3日 (金)	宮崎県建設技術協会総会	於:宮崎県宮崎市
○ 8月 6日 (月)	第2回資格認定委員会	於:協会会議室
○ 8月 9日 (木) ~10日 (金)	実地研修会 立山カルデラ	於:富山県立山町
○ 8月24日 (金)	第254回研修委員会	於:協会会議室
○ 8月29日 (水) ~31日 (金)	第643回建設技術講習会 これからの社会インフラの維持管理・更新	於:三重県津市
○ 8月30日 (木)	福岡市建設技術協会総会	於:福岡県福岡市
○ 8月31日 (金)	島根県建設技術協会総会	於:島根県松江市